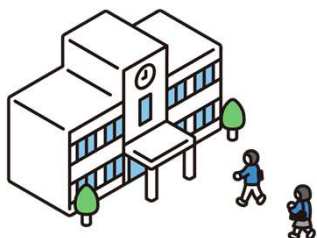


桜の宮中学校の小規模校対策に関する 保護者説明会



2026年7月16日(木)・18日(土)
神戸市教育委員会事務局学校環境整備課

目次

01 修正統合計画（案）

02 質疑応答

修正統合計画（案）

01

保護者説明会でいただいたご意見

1 統合計画案

2 統合までの不安

3 統合後の学校生活



4

1 統合計画案へのご意見及び対応内容

意見

- 手厚い小規模校の環境がよい
- 統合までの具体的な内容が分からない
- 2年後の統合は早すぎる
- 現中学1年生は桜の宮中で卒業させてほしい

5

(1) 学校統合（規模適正化）の必要性

子供が主体の学びの実現

子供たちに求められる力

変化が激しく予測困難なこれからの時代、子供たちには、自ら課題を見つけ、考え、行動し、他者と協働しながら解決していく力が求められます。子供たちの主体性を大切にした多様な教育活動が必要となります。

新たな授業づくり

「一斉に教わる」学び方だけでは、こうした力を十分に身につけることは難しくなっています。好奇心や探究心をもって主体的に学び、学ぶ楽しさを実感できる教員による授業づくりが重要となります。

新たな授業の内容

授業のめあて・目標に向けて、自分に合った学び方を選び、子供たち同士の対話を通して考えを深めます。また、自分に合った学び方が見つければ、主体的に取り組む姿勢につながります。

他者参照（子供たち同士が多様な考え方に触れることが重要）

多くの子供たちが学び合える環境であれば、より学びが深まります。
（授業例）他の生徒の考えを一度に見れるICTの活用

6

（１）学校統合（規模適正化）の必要性

小規模な中学校の課題

教員・授業

1人の教員が複数学年の授業を担当（3学級の場合は全学年担当）しますが、その教員が休むと授業ができない場合があります。

修学旅行など

小集団のため、移動手段等が割高になり、行先や体験内容が限られます。また、参入可能な旅行会社が限られます。

高1ギャップのリスク（小規模集団で9年間過ごす場合）

多様な考え方や価値観を持つ同年代の子供や教員と触れ合う機会が限られ、高校進学時に子供たちが環境の変化に対応するのに時間がかかる場合があります。

7

（２）早期の統合が必要な理由

文部科学省が作成した公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（2015）では、少子化に対応した活力ある学校づくり（一定の集団規模の必要性）を進めています。

神戸市では、基本方針（2023～）に基づく全市的な学校規模適正化の取組みを推進しています。

協議状況（2023～）

2023 桜の宮小・中学校 運営協議会(計1回)
2025～ 桜の宮小・中学校 運営協議会(計7回)
2026.5 保護者説明会

甲栄台における住宅供給の状況

2024～住宅の供給状況を注視してきましたが、これまでの分譲等の状況を考慮しても、適正な学校規模は見込まれません。

8

（３）桜の宮中学校の規模適正化の取り組み検討

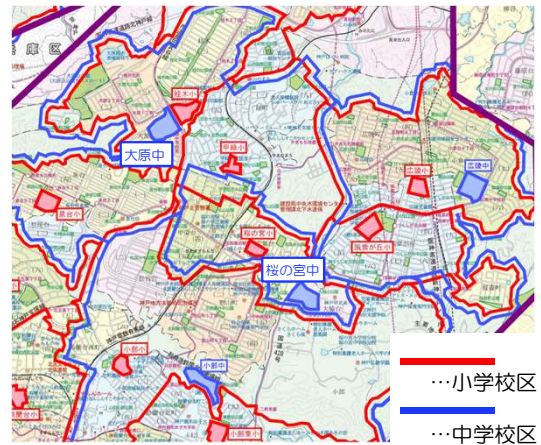
桜の宮中学校の今後の学校規模（見込み）

- 生徒数は微増（100～130名）
- 各学年１～２学級で推移

他の取り組み手法の検討

- 校区変更：近隣校も生徒が減少する見込みであり難しい
- 義務教育学校：１小（甲緑小の一部含む）１中の校区であり、学校全体の規模としてみても小規模である

校区図



通学範囲内に統合可能な中学校が立地していることを踏まえると、早期の統合が望ましい、と考えています。

9

2 統合までの不安及び対応

意見

- 統合前から大原中学校に通いたい
- 大原中への通学を認めれば桜の宮中の生徒が減る
- 統合による子供たちのストレスが心配

10

（１）一人ひとりの思いを踏まえ、不安解消などの取り組みを実施

児童生徒へヒアリング等を実施

教員が、子供たち一人ひとりの思い（「統合までの期間や統合後にやりたいこと」、「不安に思うこと」）に寄り添うために、児童生徒にヒアリング等を行います。

両校の生徒・教員の交流を深める

様々な方法・機会を通じて、両校の生徒・教員の交流を深めていきます。

例：授業進度の調整、副教材の統一

大原中教員による桜の宮中の授業見学・生徒との交流

両校生徒の合同授業の実施・オンライン交流

一部の行事や校外活動の合同実施

11

（２）統合前に大原中へ通いたい方への対応

個々の事情により、
統合前までに大原中へ通いたいと思う生徒への配慮は必要と考えています。

桜の宮中の現１年生・桜の宮小及び甲緑小の現６年生が希望に応じて
大原中に通えるような対応を検討します。

仮に桜の宮中の生徒数が減少した場合でも９教科授業が実施できる教員配置を確保します。

12

3 統合後の学校生活への対応

意見

- 桜の宮中の生徒の成績に影響はないか
- 大原中の制服を買い直すのに補助してほしい
- 通学路の安全確保に努めてほしい
- 修学旅行はどうなるのか

13

3 統合後の学校生活への対応

(1) 学習面

評価基準に基づく絶対評価

大原中の放課後学習クラブの拡充を検討

(2) 教員配置

統合時の教員配置について拡充を検討

統合時に桜の宮中の教員異動を最大限配慮

(3) 制服など

- 制服や体操服、ジャージ等は桜の宮中のものを着用できる
- 大原中の制服等のリユースを実施
- 修学旅行のアンケートを同じ内容にて両校で実施

(4) 通学路

通学路の推奨ルート（次ページに掲載）

校区内の情報を関係部署と共有

14

通学推奨ルート



15

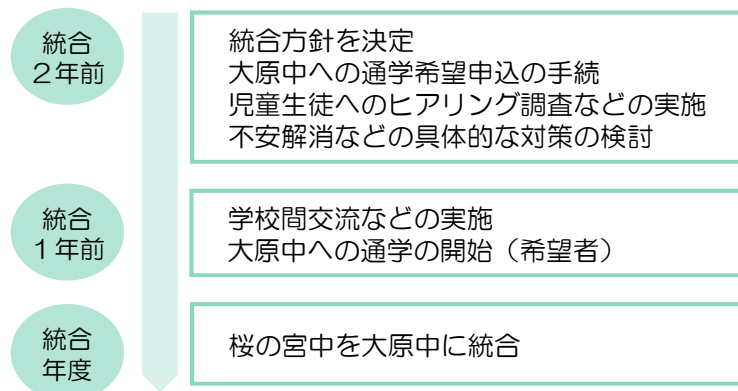
4 まとめ

統合については、
子供たちに寄り添って安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。

16

参考 スケジュール（案）

スケジュール（案）の概要



17

質疑応答

02